

2009年8月12日

2009年 カーボンブラック需要年央見直し

カーボンブラック協会

日本経済についての基調判断によれば、景気は厳しい状況にあるものの輸出、生産などにこのところ持ち直しの動きがみられ、先行きについては厳しい状況が続くとみられるものの、経済対策の効果、対外経済環境の改善などにより景気は持ち直しに向かうことが期待されるとしている。一方、生産活動が低水準であること、世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクの存在には留意を要としている。

このような経済環境の中で、カーボンブラック需要の主力製品である自動車タイヤの需要について(社)日本自動車タイヤ協会が、年央の見直しを発表した。

これによると、国内需要見通しは年間で前年比78%に修正された。これは当初の見通しに対して16ポイントの下方修正である。

一方、輸出向けは世界的な景気悪化の影響により大幅な減少が予測されるとして、年間で前年比74%への修正が参考値として示された。(当初見通しより18ポイントのマイナス)

当協会は上述のタイヤ協会見直しをベースに、その他の需要分野の情勢等も折り込んで、本年のカーボンブラック需要の見直しを行った。

その結果、カーボンブラック総需要(含輸出入)は、年間で前年比59.9%となった。これは当初の見通しより33.3ポイントの下方修正である。

「需要見通の指標」については添付別紙の【表1】を、「カーボンブラック需要量見直し」については【表2】及び【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2009年年央見直しの指標

単位:自動車 = 台、タイヤ・一般ゴム = トン、() = 前年比%

	08年実績	09年年初見通し	09年年央見直し
自動車生産	11,564,000(100)	10,720,000(91)	7,545,000(65)
タイヤ生産	1,330,378(98)	1,283,240(95)	801,466(60)
一般ゴム生産	307,281(96)	294,360(93)	181,165(59)

【表2】 2009年カーボンブラック需要年央見直し

単位:トン、() = 前年比%、但し「年初見通し」は前年見込み比%

	08年実績	09年年初見通し	09年年央見直し
タイヤ	671,841(98.0)	648,036 (94.9)	404,740 (60.2)
一般ゴム	172,077(96.1)	164,842 (93.1)	101,452 (59.0)
ゴム用計	843,918(97.6)	812,878 (94.5)	506,192 (60.0)
非ゴム	44,370(93.7)	35,500 (80.0)	29,300 (66.0)
内需計	888,288(97.4)	848,378 (93.8)	535,492 (60.3)
輸 出	43,111(105.2)	34,500 (80.2)	22,519 (52.2)
[内ゴム計]	[19,118(101.9)]	[15,500(79.9)]	[9,218(48.2)]
総需要	931,399(97.7)	882,878 (93.2)	558,011 (59.9)
[内ゴム計]	[863,036(97.7)]	[828,378 (94.2)]	[515,410 (59.7)]

【表3】 2009年カーボンブラック輸入動向年央見直し

単位:トン、() = 前年比%、但し「年初見通し」は前年見込み比%

	08年実績	09年年初見通し	09年年央見直し
ゴム用	167,991(124.5)	122,000(73.1)	60,000 (35.7)
非ゴム用	17,400(127.1)	13,000(72.2)	7,200 (41.3)
合 計	185,391(124.7)	135,000(73.0)	67,200 (36.2)